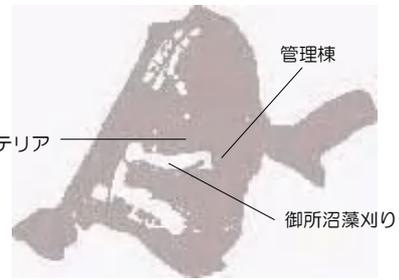


2005年8月号

# 古河総合公園だより

発行日：2005年8月10日 編集：古河総合公園パークマスター 発行者：(財)古河市民公社  
住所：〒306-0041 古河市鴻巣 399-1 古河総合公園管理棟 E-mail：iwahori@city.koga.ibaraki.jp



7月15日(土) 福祉の森会館、ジェラテリア  
MILK・メルソー基金を活かして シンポジウム



基調講演「渡瀬名園都市をつなぐ ～環境と観光の間～」に続いて、「身近な自然の景観を活かした都市観光の可能性をさぐる」をテーマにパネルディスカッションを開催。市の内外から300名ほどの方が参加しました。



7月10日(日) ジェラテリア・雪華園  
ウエディング相談会



午後1時頃からは、来園者が見守る中、模擬結婚式を開催。ジェラテリアでは、今年から本格的に結婚式&パーティーに取り組みます。結婚雑誌「ゼクシー」7月号にも記事を掲載。結婚間近のカップルのみなさん、ぜひ、ご相談下さい。(問合せ先：0280-23-0700) 主催/ジェラテリア



夕暮れの雪華園で懇親会を開催。ロシータバンドによるジャズ演奏が、ステキな雰囲気を演出しました。



8月8日(月) 管理棟デッキ  
竹の水鉄砲づくりに挑戦



「こんなに難しかったっけ？」とつぶやきながら、“おやじ”たちが昔の記憶をたよりに、子供たち20名程に竹の水鉄砲づくりを伝授。 主催/古河第六小学校おやじの会

基調講演をいただいた安島博幸先生(一番左)。懇親会では、大好きなジャズを聴きながら、市民との交流を楽しみました。



## ◆ 古河総合公園 花ファイル NO.53 ◆

### ●ミソハギ●

- [科名] ミソハギ科、宿根草
- [草丈] 0.5～1.0m程
- [花] 紅紫色
- [花期] 7～8月

やや湿った場所に育つ多年草。園内では、御所沼の畔に多く自生している。真夏の新緑が濃い中で、紫の花が目を引く。

この花は、お盆の時期に、仏前やお墓に供えられることが多い。別名は、盆花(ぼんばな)。



7月23日(水)  
**みどりと遊びの会**

公園サロン  
**ラベンダースティックづくり**



好評につき、7月6日に続き、2度目のラベンダースティックづくりを開催。今回は、土曜日に開催して、飛び入りで参加する来園者との交流を試みました。ラベンダースティックづくりの指導は、古河市香り友の会のみなさんにご協力いただきました。

8月9日(火)

管理棟  
**武蔵工業大学の学生さん60名 公園授業**



武蔵工業大学建築学科都市計画研究会 60名が来園。パークマスターが解説しながら園内を案内。その後、管理棟で、中村良夫先生(古河総合公園づくり顧問)から総合公園づくりのコンセプトなどについて授業がありました。学生さんからは「内藤廣氏(管理棟設計)と妹島和世氏(ジェラテリア設計)を指名した理由」などの質問がありました。中村先生「彼らの建築にランドスケープを感じたからです・・・」

8月3日(水)

管理棟前・駐車場  
**ボランティア清掃・草とり**



公共施設の清掃をしたいと、(株)マルハンの社員のみなさん11名が、管理棟前と駐車場の清掃と草取りをして下さいました。

8月上旬から

御所沼

**沼の藻の刈り取り**



水着を着用して、沼に入って、藻刈りをするシルバーさんたち。

復元から約10年。御所沼には、エビモ、オオカナダモ、ハゴロロモ、ヒシ、オニバスなどの水生植物が生え始め、これらの植物が秋に枯れて沼の底に沈殿して、水質悪化をすすめているという状況が起きています。この2、3年は、底にたまる泥が非常に厚くなり始めて、それを栄養源に、さらに、藻の生育が盛んになるという悪循環が生じてきています。

ふるさとの美しく楽しい沼を、将来に受け継いでいきましょう!



**古河総合公園の暦 2005年9月**

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4 フリーマーケット ※1	5	6	7	8	9	10
11 フリーマーケット ※2	12 “古河市”誕生	13	14	15	16	17 ススキ配布
18 十五夜・ススキ配布	19	20	21	22	23	24
25 フリーマーケット ※3	26	27	28	29	30	

太字斜体: 今年の予定 🌸: 花の開花、🌸🌸: 花の見頃 (1999~2004年の記録から)

※1: つくばサークル 0298-74-6448 ※2: リサイクル友好会 0280-62-2738 ※3: リサイクル推進友の会 03-3412-6857